

第2回教育委員会協議会 次第

1 開催日時 平成29年11月21日(火) 18:00~20:00

2 場 所 安芸市民会館 2階 4・5号

3 内 容
17:50~ 受 付

18:00~ 開 会

議 題

(1) 県立高等学校再編振興計画「後期実施計画」の策定について

(2) 東部地域の県立学校の現状、今後の状況について

(3) 地域からの意見聴取

(4) 会場からの意見聴取

閉 会

県立高等学校再編振興計画 後期実施計画(H31～H35年度)策定スケジュール

平成29年度						平成30年度																	
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
臨時教育委員会	9月議会 報告		12月議会		入試出願・検査	2月議会 報告	定例教育委員会					定例教育委員会	9月議会 報告		12月議会 報告	定例教育委員会	入試出願・検査	2月議会					
策定スケジュールの協議・決定 教育委員会協議会 (公開) 目的: 後期実施計画の「中間とりまとめ(たたき台)」策定に当たり、広く県民の意見を聴く。 会議: ○1月1、2回程度開催 ○1回目は、県立中学校・高等学校の現状等に関する会議を開催 ○2回目以降は、地域別に各域内の学校についての再編振興に関する意見を聴く会議を開催 ○地域別会議後は、意見聴取の内容を踏まえながら「中間とりまとめ(案)」を作成する会議を開催 ※参考(地域) 東部、中部、北部、高吾、幡多						「中間とりまとめ(たたき台)」決定・公表 教育委員会協議会 (公開) 目的: 「最終とりまとめ(パブコメ案)」策定に当たり、大きな影響が予想される学校について関係者等から意見を聴く。 会議: ○1、2回程度開催(状況に応じて追加開催あり) ○大きな影響が予想される学校の関係者等にも参加していただいで会議を開催						「最終とりまとめ(パブコメ案)」決定 パブリックコメント(パブコメ)実施 必要に応じてパブコメを踏まえた修正等						「後期実施計画」策定 冊子配布 周知のため「地区別説明会」開催					
入試・議会・定例会																							
実施計画策定のスケジュールと内容																							

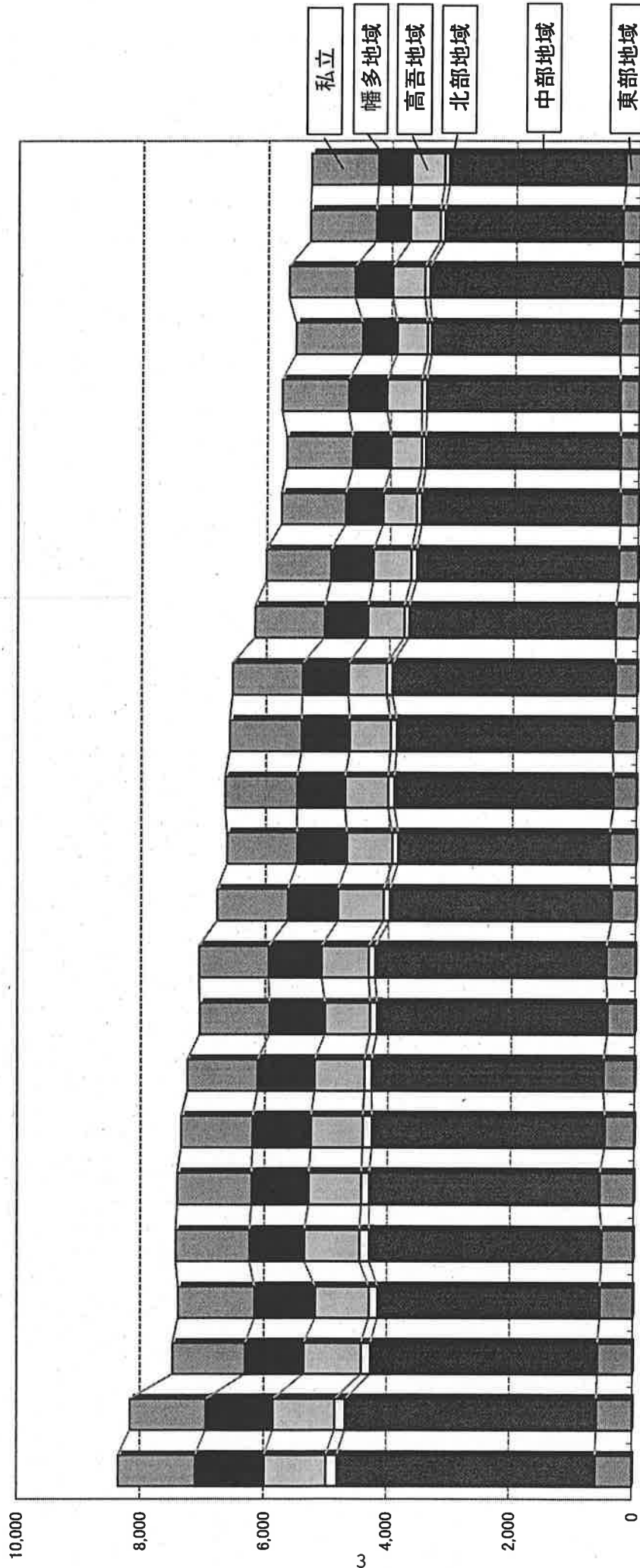
津波浸水域の県立高等学校一覧

資料2

	市町村名	学校名	10mマッシュ 最大クラス(L2)の津波 堤防なしの場合 (H24.12.26南海地震対策配布データ)		校舎 構造・階数	避難場所	標高 (m)	広さ (㎡)	避難距離 (m)	避難時間 (分)
			浸水深 (m)	30cm津波 到達時間(分)						
1	安芸市	安芸	5m	57分	非木造 4 階建	北倉屋上	23.5	840	—	—
2		安芸桜ヶ丘	5m	95分	非木造 4 階建	安芸市総合運動場(補助グラウンド)	20	13000	200	10
3	香南市	城山	4m	39分	非木造 4 階建	南倉屋上(地域住民は北倉屋上)	26	650	—	—
4	高知市	高知東	2m	190分	非木造 4 階建	校舎3・4階	9	1290	—	—
5		高知南	3m	36分	非木造 5 階建	校舎4階及び屋上	12.5	2320	—	—
6		高知工業	3m	47分	非木造 4 階建	校舎3・4階及び屋上	14	3110	—	—
7		高知追手前	2m	134分	非木造 4 階建	高知城・新館4階等状況に応じて ※右子一タは高知城	44.4	2500	1000	15
8		高知丸の内	1m	191分	非木造 4 階建	北倉2・3・4階	6.5	945	—	—
9		高知小津	1m	243分	非木造 6 階建	校舎の4階以上の教室と6階の食堂(本館東)	15.1	1810	—	—
10	土佐市	高知海洋	8m	25分	非木造 5 階建	近くの高台	40	400	500	8
11	須崎市	須崎	7m	28分	非木造 4 階建	学校の裏山にある避難道を上って、山頂にある須崎市斎場	83	—	300	15
12	宿毛市	宿毛	7m	35分	非木造 4 階建	つつじ公園	70	1000	1000	15
13	土佐清水市	清水	12m	11分	非木造 3 階建	学校裏山または近くの高台 ※右子一タは高台	43	50	125	10

地域別中学校卒業生数の推移 H15.3~H38.3 ただし、H30.3以降は推計

■ 東部地域 ■ 中部地域 □ 北部地域 ■ 高吾地域 ■ 幡多地域 ■ 私立



学	H.15.3	H.16.3	H.17.3	H.18.3	H.19.3	H.20.3	H.21.3	H.22.3	H.23.3	H.24.3	H.25.3	H.26.3	H.27.3	H.28.3	H.29.3	H.30.3	H.31.3	H.32.3	H.33.3	H.34.3	H.35.3	H.36.3	H.37.3	H.38.3
東部地域	594	581	570	535	512	550	474	504	447	468	390	426	372	385	348	352	309	289	294	305	313	287	280	237
中部地域	4,096	4,096	3,698	3,614	3,782	3,748	3,787	3,766	3,736	3,750	3,587	3,423	3,539	3,489	3,604	3,334	3,257	3,204	3,137	3,114	3,036	3,094	2,862	2,837
北部地域	182	170	153	146	162	133	149	116	118	106	104	94	103	100	94	79	92	83	67	86	66	83	79	79
高吾地域	1,007	1,003	931	867	889	848	836	805	726	760	741	740	701	670	623	595	619	541	497	563	489	517	481	523
幡多地域	1,117	1,091	949	894	891	931	953	930	903	865	817	806	777	778	739	702	686	609	620	620	565	615	550	548
私立	1,252	1,227	1,180	1,239	1,200	1,204	1,158	1,136	1,127	1,123	1,142	1,137	1,166	1,163	1,135	1,130	1,049	1,042	1,070	1,075	1,074	1,065	1,067	1,083
合	8,360	8,168	7,481	7,395	7,436	7,414	7,357	7,257	7,057	7,072	6,781	6,626	6,658	6,585	6,543	6,192	6,012	5,768	5,685	5,763	5,543	5,661	5,319	5,307
H25.3卒業生比																								
▲ 155 ▲ 123 ▲ 196 ▲ 238 ▲ 589 ▲ 769 ▲ 1,013 ▲ 1,096 ▲ 1,018 ▲ 1,238 ▲ 1,120 ▲ 1,462 ▲ 1,474																								
▲ 155 ▲ 32 ▲ 73 ▲ 42 ▲ 351 ▲ 180 ▲ 244 ▲ 83 ▲ 78 ▲ 220 ▲ 118 ▲ 342 ▲ 12																								

平成27年度以降の入学数又は在籍者数の実態（学校別一覧）

資料4

白抜き：最低規模を下回っている ■：定員に対して40人以上下回っている □：定員の半分以下

学校名	学科(科)名	入学定員	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
室戸	総合	80	63	50	42	
安芸	普通	120 (60)	83	83	95	● H28年度までは160人
安芸桜ヶ丘	工業 (環建) [土木	20	9	6	9	
	工業 (環建) [建築	20	6	4	11	
	工業 (環工)	40	11	3	4	● H30年度から募集停止
城山	商業 (情ビ)	40	21	14	14	
	普通	80	61	40	46	● H29年度から単位制
山田	普通	160	110	121	128	
	商業 (商業)	40	29	26	30	
嶺北	普通	80	26	22	29	●
高知農業	農業 (農総)	40	40	41	40	
	農業 (畜総)	40	32	28	36	
	農業 (森総)	40	22	24	21	
	農業 (環土)	40	27	31	35	
	農業 (食ビ)	40	35	37	33	
高知東工業	農業 (生総)	40	40	32	40	
	工業 (機械)	40	31	40	35	
	工業 (機械シ)	40	28	30	24	●
	工業 (電子)	40	26	24	27	
	工業 (電機)	40	24	30	29	
岡豊	普通	240	240	240	239	
	普通 (芸術コース)	40	23	25	24	●
高知東	普通 (体育コース)	40	33	40	40	
	総合	200	200	198	200	●
高知南	看護 (看護)	30	24	24	30	
	普通	200 (100)	169	194	200	● H35年度統合完了
高知工業	国際 (国際)	40 (20)	28	35	36	
	工業 (機械)	40	40	40	40	
	工業 (電気)	40	35	34	35	
	工業 (情技)	40	37	34	38	
	工業 (工化)	40	35	40	40	●
	工業 (土木)	40	40	40	40	
	工業 (建築)	40	40	40	40	
工業 (総テ)	40	36	37	39		
高知追手前	普通	280	265	279	252	●
吾北	普通	40	23	23	19	●
	普通	140	141	141	140	
高知丸の内	音楽 (音楽)	10	9	7	10	●
	普通	30	20	21	13	
高知小津	普通	240	226	241	240	●
	理数 (理数)	40	24	29	40	
高知西	普通	240	236	240	240	
	外国語 (英語)	40	40	41	40	● H35年度統合完了
伊野商業	商業 (キャリア)	160	145	139	147	●
春野	総合	160	136	148	137	●
高岡	普通	80	42	37	40	● H29年度から単位制
高知海洋	水産 (海洋)	80	51	58	39	●
	船舶職員養成課程	[10]	[4]	[4]	[2]	
須崎工業	工業 (機械系) [機械	20	31	40	12	
	工業 (機械系) [造船	20	25	17	13	
	工業 (電情系) [電気	20	22	19	9	
	工業 (電情系) [電情	20	22	19	10	
	工業 (シ工系) [機制	20	18	15	2	
工業 (シ工系) [住環	20	18	15	18		
須崎	普通	120	64	97	92	● H31年度統合完了 ※H29年度から学科改編
佐川	普通	80	52	47	35	●
窪川	普通	80	34	41	26	●
橋原	普通	80	56	32	43	●
四方十	普通	40	13	13	9	●
	普通 (自環コース)	40	7	7	4	
大方	普通	80	33	32	32	● H29年度から全日制

(注1) 安芸、高知南、中村の()内の数字は、併設中学からの最大進学者の生徒数。

(注2) 高知海洋高校船舶職員養成課程の[]は内数

(注3) 嶺北、橋原、四方十の合格者数は、連携型中高一貫教育校に係る特別選抜合格者数を含む。

学校名	学科(科)名	入学定員	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
幡多農業	農業 (園シス)	40	24	38	40	
	農業 (アグリ)	40	27	28	30	
	農業 (グリーン)	40	24	22	17	●
	農業 (コーディネート)	40	22	34	31	
中村	普通	200 (70)	184	161	200	●
	西土佐 普通	40	22	11	9	●
宿毛工業	工業 (機械) [機械	20	17	14	17	
	工業 (機械) [自転車	20	20	18	18	
	工業 (建設) [土木	20	19	20	19	
	工業 (建設) [建築	20	20	20	17	●
	工業 (電気)	40	19	19	16	
工業 (情技)	40	27	40	33		
宿毛	総合	120	106	89	82	● H28年度までは160人
清水	普通	80	51	47	47	●
県立計		5090	4004	4032	4007	

(注4) 清水の合格者数は、連携型中高一貫教育校に係る特別選抜合格者数を含む。

学校名	学科(科)名	入学定員 (成人)	最低規模(該当に●)			備考
			H27 入学者	H28 入学者	H29 入学者	
中芸	普通(昼)	40	23	26	11	●
高知北	普通(昼)	80	80	74	80	●
合計		120 [0]	103	100	91	

学校名	学科(科)名	入学定員 (成人)	最低規模(該当に●)			備考
			H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
中芸	普通(夜)	40 [4]	8	17	18	●
高知北	普通(夜)	40 [4]	134	124	101	●
	看護(夜) (衛生) (技能連携)	40			4	● H30年度から募集停止
合計		120 [8]	142	141	123	

(注1) 成人の[]は内数

学校名	学科(科)名	入学定員 (成人)	最低規模(該当に●)			備考
			H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
室戸	普通	40 [4]	11	11	17	●
山田	普通	40 [4]	38	32	29	●
高知東工業	工業 (機械)	40 [4]	33	40	34	●
高知工業	工業 (機械)	40 [20]				
	工業 (電気)	40 [20]	87	81	70	●
	工業 (土木)	40 [20]				
工業 (建築)	40 [20]					
高岡	普通	40 [8]	27	42	44	●
須崎	普通	40 [4]	25	23	17	● H31年度に統合
佐川	普通	40 [8]	25	21	22	●
大方	普通	40 [4]	28	26	21	●
宿毛	普通	40 [4]	38	32	25	●
清水	普通	40 [4]	19	21	19	●
県立計		520 [124]	331	329	298	

(注1) 成人の[]は内数

学校名	学科(科)名	最低規模(該当に●)			備考
		H27 在籍者	H28 在籍者	H29 在籍者	
高知北		427	412	438	
大方		78	78	64	
合計		505	490	502	

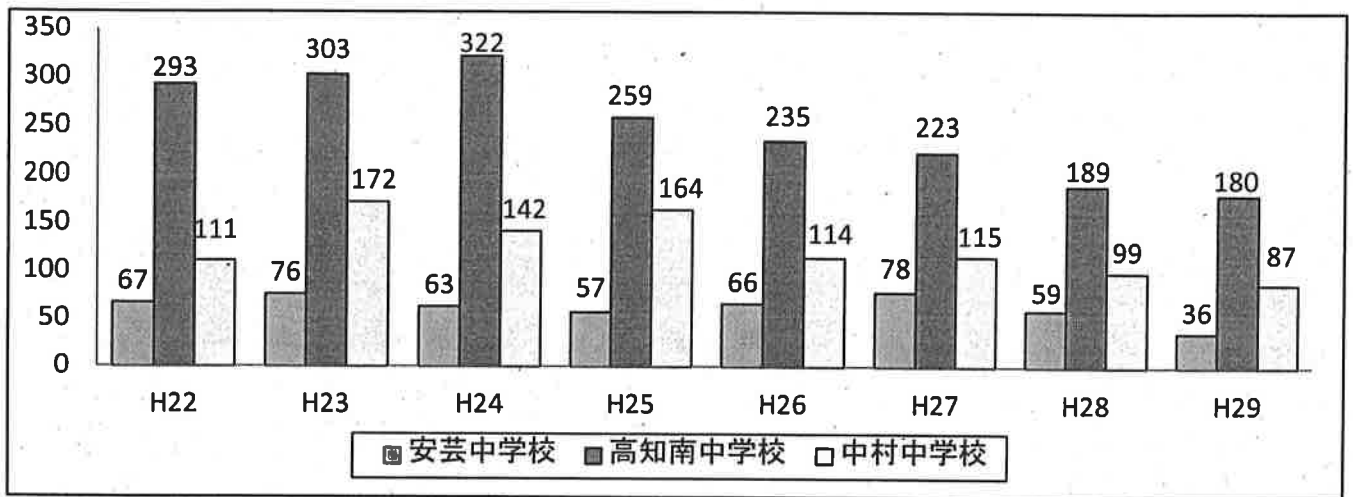
県立中学校入学者募集について

1 入学定員の推移(人)

	H24	H25	H26	H27			H28			H29		
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
安芸中	70	70	70	35程度	35程度	70	30程度	30程度	60	30程度	30程度	60
高知南中	120	120	120	60程度	60程度	120	60程度	60程度	120	60程度	60程度	120
中村中	70	70	70	35程度	35程度	70	35程度	35程度	70	35程度	35程度	70

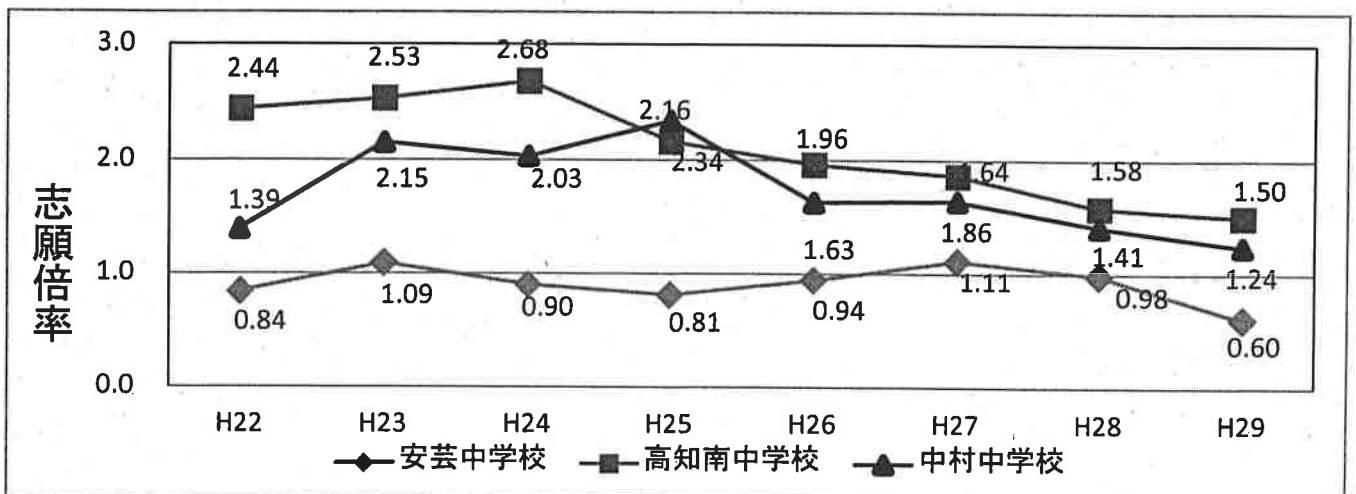
2 志願者数の推移(人)

	H24	H25	H26	H27			H28			H29		
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
安芸中	63	57	66	39	39	78	31	28	59	10	26	36
高知南中	322	259	235	103	120	223	76	113	189	66	114	180
中村中	142	164	114	53	62	115	42	57	99	36	51	87



3 志願倍率の推移

	H24	H25	H26	H27			H28			H29		
				男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
安芸中	0.90	0.81	0.94	1.11	1.11	1.11	1.03	0.93	0.98	0.33	0.87	0.60
高知南中	2.68	2.16	1.96	1.72	2.00	1.86	1.27	1.88	1.58	1.10	1.90	1.50
中村中	2.03	2.34	1.63	1.51	1.77	1.64	1.20	1.63	1.41	1.03	1.46	1.23



県立中学校生出身市町村における小学6年生の数について

1 県立安芸中学校

(H29年度以降は推計)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
室戸市	126	112	110	91	90	85	78	83	79	70	65	91	69	79	49
奈半利町	30	22	17	34	29	20	25	29	20	20	12	18	17	28	14
北川村	10	13	5	16	13	14	12	7	8	11	9	9	8	9	6
田野町	33	23	23	22	19	27	17	16	18	17	15	17	11	13	14
馬路村	14	7	16	10	9	2	6	4	4	8	8	6	5	8	13
安田町	32	21	21	20	10	25	19	17	7	8	11	13	13	10	10
安芸市	166	156	180	143	161	139	145	124	136	125	139	138	110	108	106
芸西村	37	35	28	31	44	32	32	23	26	33	35	16	42	23	19
香南市	332	363	293	328	324	372	333	313	316	291	297	287	287	280	285
計	780	752	693	695	699	716	667	616	614	583	591	595	562	558	516

2 県立高知南中学校

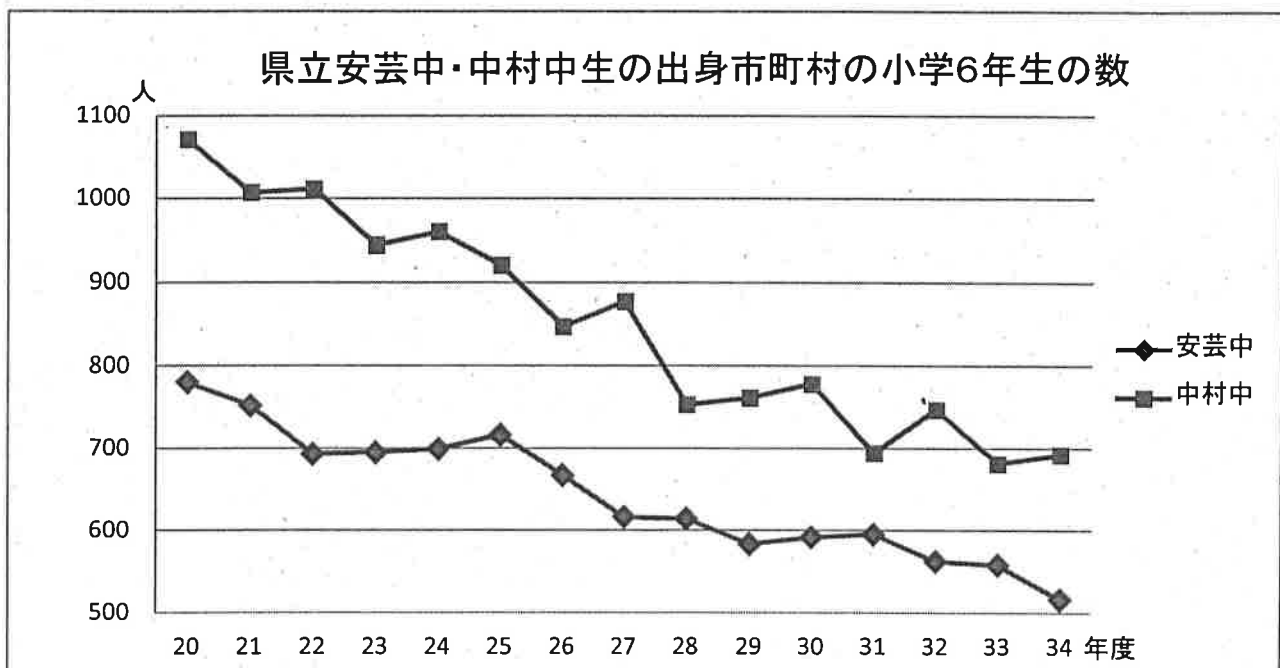
(H29年度以降は推計)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
香美市	264	195	213	219	223	213	184	186	189	186	193	197	201		
高知市	3078	3058	2923	3070	2985	3044	2900	2836	2744	2732	2750	2670	2711		
いの町	255	253	241	192	213	193	193	175	172	171	159	170	156		
南国市	526	491	470	478	480	451	423	426	410	449	403	395	419		
土佐市	233	256	246	254	251	283	246	200	225	212	217	216	224		
日高村	57	58	53	66	43	56	45	50	43	44	30	43	42		
計	4413	4311	4146	4279	4195	4240	3991	3873	3783	3794	3752	3691	3753		

3 県立中村中学校

(H29年度以降は推計)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
四万十町	177	168	172	148	154	153	120	159	134	117	134	105	108	107	120
黒潮町	109	102	116	82	93	90	100	96	64	82	78	64	79	75	63
四万十市	329	306	336	351	323	328	329	278	277	283	257	258	279	237	259
宿毛市	250	230	220	188	195	195	151	198	154	145	165	151	174	162	162
三原村	20	9	10	10	15	11	14	8	17	9	10	10	3	8	8
大月町	52	53	42	42	52	30	40	46	26	42	34	28	30	27	23
土佐清水市	134	139	115	123	128	113	93	92	81	83	100	78	74	65	57
計	1071	1007	1011	944	960	920	847	877	753	761	778	694	747	681	692



1 前期実施計画からの継続検討事項

- 中芸高校、安芸高校、安芸桜ヶ丘高校の3校の将来的な在り方を検討する必要がある。
 - ・安芸高校：南海トラフ地震への対応のため、適地への移転を検討する。
- 中村高校西土佐分校：2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合は、その翌年からの募集停止を検討する。
- 宿毛高校：南海トラフ地震による津波への対応のため、適地への移転の可能性を含め、将来の学校の在り方を検討していく。
- 清水高校：南海トラフ地震による津波への対応のため、高台への移転を検討する。

2 「県立高等学校再編振興計画」で定めた適正規模に関する検討事項

(1) 本校

〔記載内容〕 過疎化が著しく近隣に他の高等学校がない学校。不登校や中途退学を経験した生徒、発達障害のある生徒等に柔軟な対応をするための支援体制を整えた学校については、特例として1学年1学級(20人)以上を最低規模として維持する。

〔現状課題〕 **中芸高校**：本年度下回る (H29年度：11人、H28年度：26人、H27年度：23人)
四万十高校：本年度下回る (H29年度：13人、H28年度：20人、H27年度：20人)

(2) 分校

〔記載内容〕 2年連続して入学者が20人に満たない状況になった場合、その翌年からの募集停止を検討する。※「入学者が20人に満たない状況が3年間で2度ある」から基準を緩和

〔現状課題〕 **吾北分校**：本年度下回る (平成29年度入学生19人 (H28:23人、H27:23人))
西土佐分校：2年連続下回る (平成29年度入学生9人、平成28年度入学生11人)

(3) 併設型中高一貫教育校

〔記載内容〕 東部、中央部、西部の3地域での配置を維持する。

〔現状課題〕 **県立安芸中学校**の志願者が減少し、生徒確保が課題となっている。
 ※平成29年度：定員60人、志願者36人、入学者35人

(4) 総合学科の学校

〔記載内容〕 生徒数の減少等により複数の系列を置くことが困難な学校については、生徒数や地域の状況も踏まえつつ必要に応じて普通科への改編も検討する。

〔現状課題〕 **室戸高校**の入学者が減少し、現在の4系列の維持が難しくなっている。
 ※平成29年度：定員80人、入学者42人
 ※現在の系列：文理総合系列、IT・アート系列、生活福祉系列、機械技術系列

(5) 定時制(夜間部)

〔記載内容〕 最低規模については、様々な学びを保障するため、「1学年1学級10人程度以上」から「学校全体の生徒数を20人以上」に緩和し学校の維持に努める。

〔現状課題〕 **室戸高校**：3年連続下回る (H29年度：17人、H28年度：11人、H27年度：11人)
中芸高校：3年連続下回る (H29年度：18人、H28年度：17人、H27年度：8人)
須崎高校：本年度下回る (H29年度：17人)
清水高校：2年下回る (H29年度：19人、H28年度：21人、H27年度：19)

前期実施計画で明記した学校の在り方に係る現在の状況（H29.9末現在）

	学校名	前期実施計画で明記した学校の在り方	平成29年9月末現在の状況
1	室戸高校	<p>【全日制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ジオパーク等の地域の強みを生かした取組等を通じて教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。また、地元の中学校と授業を通じた連携を強化することにより基礎学力の向上を図り、国公立大学進学から就職まで生徒が希望する進路の実現を支援する。 過疎化が著しく、近隣に他の高校がない学校であり、特例として1学年1学級（20人以上）を最低規模として維持する。 <p>【定時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、進路実現を支援する。 	<p>【全日制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度から学校設定科目として「ジオパーク学」（2年次）を開講していたのに加え、郷土理解を一層深めるため、平成27年度から1年次に「室戸学」を設置し、「ジオパーク学」につなげる授業を展開し、3年次の「課題研究」でテーマ別発表を行う等、将来の室戸を背負って立つ人材の育成を目指している。 「女子硬式野球部」による生徒確保に努めている。（入学生徒 H27年度11名、H28年度11名、H29年度8名） 平成29年度から夏季休業中、中学生に高校生が勉強を教えに行く取組をスタートさせている。 国公立大学進学者は、平成26年度3人、平成27年度3人、平成28年度6人である。 入学者数（定員80人）は、H27年度63人、H28年度50人、H29年度42人である。 <p>【定時制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話す力を育成する取組や、学習スケジュール帳を活用して、自己管理する習慣づくりを行っている。 地域の方々が聴講生（26人、3講座で29人）として学んでいる。 在籍生徒数は、H27年度11人、H28年度11人、H29年度17人である。
2	中芸高校	<p>【昼間部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な学習歴や多様なニーズのある生徒への適切な支援等を通じて教育活動の充実を図り、生徒数の確保に努める。また、国公立大学進学から就職まで、生徒が希望する進路の実現を支援する。 不登校経験や発達障害のある生徒等にも柔軟な対応ができる支援体制を生かしながら、高校教育の質を保証するため、1学年1学級（20人以上）を最低規模として維持する。 <p>【夜間部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きながら学ぶことや学び直しなど、様々な学習歴をもつ生徒のニーズに応え、進路実現を支援する。 	<p>【昼間部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年次に学校設定科目として「SST（ソーシャルスキルトレーニング）」を設置（平成28年度から）し、社会的に必要なスキルの習得に力を入れている。 進路状況は、大学（4割）、専門学校（2割）、就職（3割）、その他（1割）である。 不登校経験者や発達障害の生徒の在籍率は51%である。 入学者数（定員40人）は、H27年度23人、H28年度26人、H29年度11人である。 現在、高等学校における通級による指導について、文部科学省の「高等学校における特別支援教育推進のための拠点校整備事業」指定を受けて、同居する山田養護学校田野分校の協力を得て研究中である。 <p>【夜間部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方々が聴講生（15講座で37人）として学んでいる。 在籍生徒数は、H27年度8人、H28年度17人、H29年度18人である。
3	安芸高校 安芸中学校	<ul style="list-style-type: none"> 東部地域の進学拠点校として併設型中高一貫教育を継続し、生徒の国公立大学や難関大学への進学を実現できる支援体制の充実等を通じて、生徒数の確保と適正規模の維持に努める。 進学に向けた取組の成果を他の学校にも普及することで県全体の進学指導力を向上させる牽引校とする。 南海トラフ地震への対応のため、適地への移転を検討する。 	<p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学志願者は、H27年度78人（1.11倍）、H28年度59人（0.98倍）、H29年度36人（0.6倍）である。 入学定員を平成28年度から60人とする（平成27年度までは70人）。 <p>【高等学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校、高等学校ともに、45分7時間授業や土曜補習の実施等を通して、授業時数の確保と学力向上に努めている。 中高一貫教育を生かした入学時からの系統的な学習に取り組んでいる。特に英語教育には力を入れており、その成果を生かして難関私立大学へ進学する生徒もいる（毎年3～5名）。 毎年、約20%の生徒が国公立大学へ、さらに4%は難関私立大学へ進学している。 国公立大学進学者は、平成26年度22人、平成27年度16人、平成28年度16人である。 平成29年度から「東部地域の運動部活動強化拠点校」として、部活動強化に取り組んでいる。 入学者数（H27・28年度は定員160人、H29年度は120人）は、H27年度83人、H28年度83人、H29年度95人である。
4	安芸桜ヶ丘高校	<ul style="list-style-type: none"> 工業科では、ものづくりや資格取得等の取組を進め、環境に配慮したインフラ整備に関わる建設技術者や電気技術者等の育成に努める。 商業科では、地場産業や地域観光の振興に寄与する、情報発信や商品開発ができる商業人材の育成に努める。 これらの取組を通じ、地元産業の活性化に貢献する人材の育成を図り、生徒数の確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「工業科」では、スペシャリストの育成を目指し、ものづくり競技会やデザインコンペへの参加、防災施設の建設や登山道の整備による地域連携・地域貢献に取り組んでいる。なお、平成26年には、環境建設科の生徒達が「第12回民家の甲子園」において民家大賞を受賞。また、国家資格の「第3種電気主任技術者」の合格者を出す等、資格取得の取組も充実させている。 「商業科」では、実践教育によるスペシャリストの育成を目指し、「商い甲子園」や「桜市」等への参加、土佐ゼロラーメン街道プロジェクトによる地域産業の活性化等に取り組んでいる。なお、平成29年度『商業高校フードグランプリ2017』全国大会で、『なすのプリン』が全国優勝。 「環境エネルギー科」を平成30年度から募集停止し、工業科1科、商業科1科の1学年2学科となる。 入学者数（定員120人）は、H27年度47人、H28年度27人、H29年度38人である。

再編振興計画での地域（現・旧市町村）別中学校卒業生数の推移（H30.3～H38.3は推計）

地域	高校	現市町村名	H.19.3	H.20.3	H.21.3	H.22.3	H.23.3	H.24.3	H.25.3	H.26.3	H.27.3	H.28.3	H.29.3	増減	H.30.3	H.31.3	H.32.3	H.33.3	H.34.3	H.35.3	H.36.3	H.37.3	H.38.3
東 部 地 域	室 戸	室戸市	134	144	131	120	112	116	96	102	80	85	76	▲12	64	66	68	57	53	78	56	66	38
		東洋町	23	20	23	24	29	25	14	19	17	11	14	▲4	18	9	7	6	14	8	15	5	4
		計	157	164	154	144	141	141	110	121	97	96	90	▲8	82	75	75	63	67	86	71	71	42
	中 芸	奈半利町	31	26	18	28	33	31	20	17	27	26	17	▲0	17	26	15	15	8	14	13	23	10
		北川村	13	15	5	15	9	11	12	6	15	11	10	▲3	7	7	6	9	7	7	6	7	4
		田野町	21	28	18	28	21	27	18	15	15	12	22	▲9	13	12	16	13	11	13	7	9	10
		馬路村	6	15	10	16	14	15	4	13	10	11	3	▲3	6	5	5	9	9	7	6	9	16
		安田町	34	26	25	24	17	29	21	18	17	11	23	▲10	13	12	5	4	7	9	9	6	6
	計	105	110	76	111	94	113	75	69	84	71	75	▲19	56	62	47	50	42	50	41	54	46	
	安 芸	安芸市	212	216	199	199	175	177	168	200	158	173	146	▲37	183	144	139	146	159	158	131	129	127
芸西村		38	60	45	50	37	37	37	36	33	45	37	▲6	31	28	28	35	37	19	44	26	22	
計		250	276	244	249	212	214	205	236	191	218	183	▲31	214	172	167	181	196	177	175	155	149	
全 体	東部地域計	512	550	474	504	447	468	390	426	372	385	348	▲4	352	309	289	294	305	313	287	280	237	
	H29との増減	164	202	126	156	99	120	42	78	24	37	0		4	▲39	▲59	▲54	▲43	▲35	▲61	▲68	▲111	
	公 立 計	6,079	6,053	6,045	5,969	5,771	5,795	5,482	5,331	5,354	5,290	5,275	▲352	4,923	4,829	4,590	4,495	4,566	4,346	4,473	4,133	4,102	
	国 公 立 計	6,236	6,210	6,199	6,121	5,930	5,949	5,639	5,489	5,492	5,422	5,408	▲346	5,062	4,963	4,726	4,615	4,688	4,469	4,596	4,252	4,224	
	私 立 計	1,200	1,204	1,158	1,136	1,127	1,123	1,142	1,137	1,166	1,163	1,135	▲5	1,130	1,049	1,042	1,070	1,075	1,074	1,065	1,067	1,083	
県 内 計	7,436	7,414	7,357	7,257	7,057	7,072	6,781	6,626	6,658	6,585	6,543	▲351	6,192	6,012	5,768	5,685	5,763	5,543	5,661	5,319	5,307		

地域からの意見聴取

(1) 室戸市

(2) 田野町

(3) 安芸市

会場からの意見聴取